

幌別川河口におけるヒグマ被害の発生に係る立ち入り禁止措置について

平成 28 年 9 月 2 日 (金)

知床ヒグマ対策連絡会議

(環境省釧路自然環境事務所・北海道森林管理局・北海道・斜里町・(公財) 知床財団)

今般、以下のような問題の発生が確認されたため、人身被害防止の観点から、関係機関において協議し、現地に漁業番屋を所有する漁場関係者の同意も得た上で、幌別川河口への立ち入りを当面禁止することとしましたのでお知らせします。

- 8 月 24～29 日にかけて、幌別川河口において、ヒグマが自転車を壊す、残置していた荷物を荒らす、釣り人に接近し釣った魚を横取りするといった問題が連続して発生しました。8 月 27 日や 29 日には、ヒグマの出現により、幌別川河口の右岸から釣り人が戻れなくなる状況が発生しました。
- 一連の問題で人的な被害は発生していませんが、今後、ヒグマが同地点において食料を得られることを覚え、釣り人に積極的に接近する、釣り人を追い回すといった状況が発生するおそれがあります。
- 幌別川は、知床世界自然遺産地域及び知床国立公園の境界となっている河川であり、周辺はヒグマの生息地です。このようなトラブルが発生した背景には、再三の注意喚起にも関わらず、釣り上げた魚や荷物が適切に管理されていないこと、さばいたあとの魚の残滓を放置するなど、釣り人のマナーの悪さがあると考えられます。

1. 問題の概要

8 月 24 日から 29 日にかけて、幌別川河口において、釣り人とヒグマとのトラブルが連続して発生しています。一連の問題に関係しているヒグマとして、少なくともオス 2 歳の単独個体（個体名：SP、写真 1）が確認されています。

8/24 午後 3:00 頃、ヒグマが釣り人の自転車のサドルを壊す（写真 2）。

8/25 午前 11:00 頃、ヒグマが釣り人のリュックを荒らす（写真 3）。

8/26 午後 5:00 頃、ヒグマが釣り人に接近、釣り上げて残置してあった魚を横取りする。

8/27 午前 10:45 頃、幌別川河口にヒグマが出現、右岸の釣り人が戻れなくなり孤立する。

(8/28 午前 11:35 頃、幌別川河口にヒグマが出現、対策員が追い払いを実施。)

8/28 午後 1:30 頃、幌別川河口にヒグマが出現、釣り人の投棄した釣り餌（イカ）を食べる。

(8/29 午前 3:30 頃と午前 4:50 頃、ヒグマが出現、対策員が追い払いを実施。)

8/29 午前 9:40 頃、ヒグマが釣り人の残置した魚を食べた後、釣り人に接近してくる。

最接近距離は 5m、ヒグマはやや興奮気味だったとのこと。この際、右岸にいた釣り人が戻れなくなり孤立する。

(9/1 午前 4:50 頃、ヒグマが出現、対策員が追い払いを実施。)

2. 問題への対応

8月3日に、マス釣りが本格化する時期に合わせて、釣り人へ荷物や残滓の管理をしっかり行うよう呼びかける看板(写真4)を設置しました。

8月24日に問題が発生してからは、朝夕を中心に1日複数回のパトロールを行い、釣り人に口頭で状況を伝えて注意喚起を行うとともに、トラブルの概要を釣り人に知らせる看板(写真5)を現地に設置しています。

8月29日からは、さらに危機的な状況を伝える内容のチラシ(写真6)を作成し、地元の有志にも協力していただき、幌別川河口を利用する釣り人に配布しています。

3. 幌別川河口へ行くことを考えている皆様へのお知らせ

知床国立公園では、平成21年1月に「知床半島中央部地区利用の心得」を策定し、ヒグマを含むリスクの軽減に関する取り組みを利用者に求めてきていました。今回の問題の要因は、ヒグマの誘引物となる釣りあげた魚や荷物が適切に管理されていなかったことです。また、釣り人による魚をさばいたあとの残滓を投棄する行為が、ヒグマを人の近くに引き寄せた可能性もあります。

サケ・マス類の遡上するこれからの時期、幌別川河口付近には毎年ヒグマが頻繁に出現しています。この場所では、過去にも釣り人のマナー欠如からヒグマによる事故が起きかねない事例が発生しています。

このような状況を踏まえ、幌別川河口では人身事故が発生するおそれが非常に高まっていると判断し、当面の間、幌別川河口への立ち入りは禁止します。

4. 問い合わせ先

環境省釧路自然環境事務所ウトロ自然保護官事務所(担当:前田・西田)

0152-24-2297(Tel)、24-3646(Fax)

林野庁 知床森林生態系保全センター(担当:和田)

0152-24-3466(Tel)、24-3477(Fax)

北海道オホーツク総合振興局環境生活課知床分室(担当:石井)

0152-24-3577(Tel)、24-3646(Fax)

斜里町役場(担当:玉置・寺屋)

0152-23-3131(Tel)、23-4150(Fax)

(公財)知床財団(担当:増田・寺山)

0152-24-2114(Tel)、24-2115(Fax)

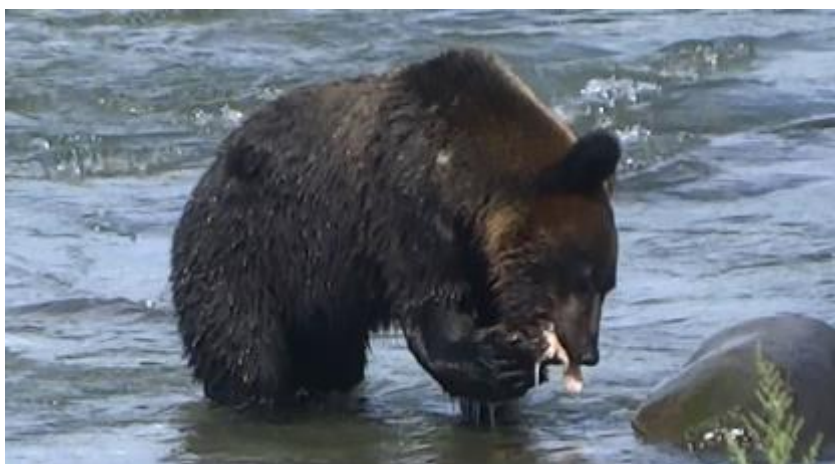


写真 1. 幌別川河口に頻繁に出没している 2 歳オスヒグマ（個体名:SP）

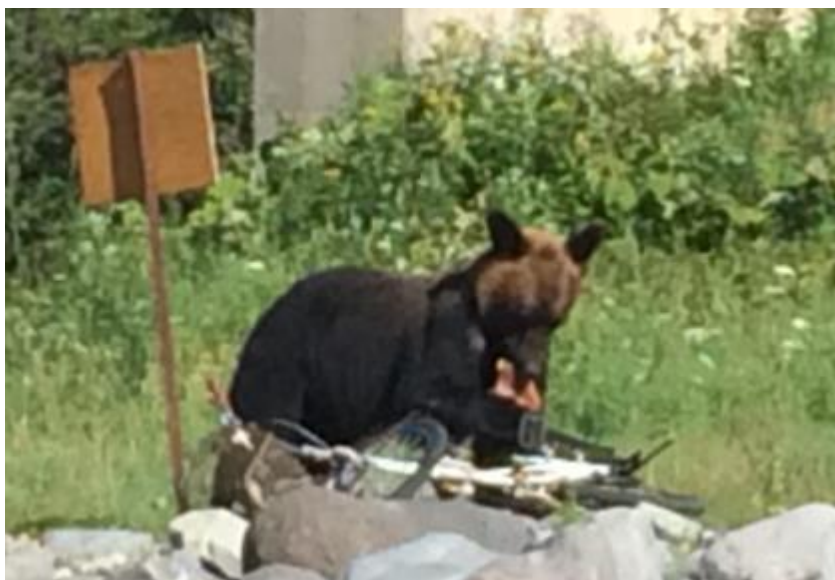


写真 2. 自転車のサドルを壊しているヒグマ



写真 3. ヒグマに破かれたリュック（中に食べ物はなし）





写真 4. 幌別川河口周辺に設置した看板 (8月3日～)

幌別川での釣りは危険です

トラブルが連続して発生しています。

- ・8/24 釣り人の自転車がヒグマに壊される
- ・8/25 釣り人のリュックがヒグマに荒らされる
- ・8/26 ヒグマが釣り人に接近、釣った魚を奪われる
- ・8/27 河口にヒグマが出現、釣り人が右岸に取り残される

**ヒグマが人に近寄ってくる可能性も考えられます。
フンベ川など、他河川で釣りを行ってください。**

環境省・北海道・斜里町・知床財団

写真 5. 追加で設置した看板 (8月27日～)

幌別川での釣りは大変危険です

ヒグマによる人身事故がいつ発生してもおかしくない状態です

幌別川河口の釣り場では、下記が推奨行動です。

- 1) 魚を釣り場で捌かないで下さい。捌だけ抜いた後の**魚空、ハラワタの投棄は絶対にやめて下さい**。
ヒグマは、釣り人の存在と餌(内臓や魚)の存在とを、完全に結びつけて学習しています。
- 2) 荷物と釣った魚は肌身離さず持ち歩いて下さい。**ヒグマ出現時には、すぐに全てを持って避難して下さい**。
荷物や魚を、ヒグマに奪われないようにして下さい。
- 3) **クマスプレーやナクなど**、万一ヒグマから攻撃された場合も反撃可能な道具を**持参して下さい**。
(爆竹や轟音玉、駆除雷などの花火だけでは、もはや逃げないヒグマが幌別河口には来ています)
- 4) 河口より**右岸側(半島先端側)の海岸では、釣りをしないで下さい**。
ヒグマの進行方向をふさぎ、あなたの退路を断つこととなります。

★あなたの安全を守るため、今後もこの場所で釣りを続けることができるようにするため、上記の推奨行動を必ず実行するよう、どうかご協力ください。

・今後さらに状況が悪化した場合、幌別川での釣りは禁止される可能性があります。



環境省・北海道・斜里町・知床財団

2016年

幌別川での釣りは大変危険です

トラブルが連続して発生しています！

- ・8/24 釣り人の自転車がヒグマに壊され、カッパを引きずり出される。
- ・8/25 釣り人のリュックがヒグマに荒らされる(中に食べ物無し)。釣った魚も奪われた。
- ・8/26 ヒグマが釣り人に接近、釣った魚を奪われる。
- ・8/27 河口にヒグマが出現、釣り人が右岸にとり残される。
- ・8/28 河口にヒグマが出現、川の中に沈んでいた釣り餌(イカ)を食べる
- ・8/29 ヒグマが投棄されていた魚を食べた後、他の釣り人に接近、迷走した釣り人が右岸側にとり残される。

河口

★ヒグマに荷物を奪われ、中に入っていた人間の食べ物を食べられるような状況が最悪です。そのようなヒグマは、その後積極的に人を襲って荷物を奪うようになる可能性が高く、釣り人以外にも危険が及ぶことになります。

写真 6. 釣り人に配布しているチラシ (8月29日～)